





令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	サイエンスイマージョン		
期 日	令和5年12月22日（金）～令和6年1月26日（金）		
会 場	長岡高校		
対 象	普通科&理数科 1年生		
目 的	<p>科学技術分野の第一線で活躍をしている海外出身の研究者を講師として招き、研究報告や体験談、質疑応答を通して生徒の関心意欲を育てるとともに、科学を土台にした協働・思考活動を英語で行うことで、国際的コミュニケーション能力の育成を図る。</p>		
内 容	<p>講座①（12/22） 海外での研究活動経験のある日本人講師と各クラスをZOOMでつなぎ、英語を使うことの意義と英語による発表で求められることについて講義を行った。</p> <p>講座② 日本の大学院等で活動中の外国人研究者2名を講師として招き、各クラス3時間を使い、班ごとに「長岡市のスマート化」構想を練り、ポスター発表を行った。</p> <p>講座③ 講座②での講師からのフィードバックをもとに、発表を練り直し、再度発表を行い動画撮影をした。生徒の投票により選ばれた2班の動画を講師に送り、再評価してもらった。</p>		
			
	講座② 講師によるレクチャー	講座② 班別での発表準備	
			
	講座② 班別ポスター発表	講座② 班別ポスター発表	

アンケート評価	<p>「とても楽しみである」24.4% ⇒「とてもよかった」64.3% 「英語を聴く力が向上する」72.4 ⇒「向上した」77.0% 「英語を話す力が向上する」79.5% ⇒「向上した」72.0% 2回目の発表が「とても良くなった」54.8%、 「どちらかと言えば良くなった」43.1% その理由は「内容を深めることができたから」73.0% 「英語を話す機会がさらにできたから」62.0% 「人の前で発表することに慣れたから」26.7% 「講師のフィードバックを活かしたから」38.7%</p>
感想など	<p>【講座③後のアンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サイエンスイマージョンを通じて、外国語で発表することは思っているより何倍も難しく考える必要がないとわかったし、グループのメンバーで文の構造などを協力して考える力も新たに身につけられたと感じられるので、良い機会になったと思う。 ● キャッチフレーズのコールをみんなでしたり、実演してみたりしたらもっと面白かったかもしれない。すごく楽しかった。 ● 非常に楽しいスピーチをすることができた。アイディアも4人で話し合うことで様々な意見が出てきた。 ● 少し間違えてしまったが、大きな声で発表できてよかった。 ● 1回目の反省点を生かし、発表原稿の文章の順序や話す速さにもこだわった、とても良いプレゼンテーションができました。班の人たちとも協力できていたので良かったです。個人的には、文章を暗記し、抑揚をもう少しつけて言うことができなかつたため、今後は気をつけたいです。 ● 笑顔で発表できてよかった。聞いている人に質問などをして、発表に引きつけることができてよかった。 ● 練習よりも紙を見ずに堂々と話せたのでよかった。口で伝えるだけじゃなくて、実際にやってみた方が面白いし、伝えやすいのではないかと感じた。自分たちのアイディアがちゃんと伝わるような発表ができたと思う。